

外来新患診療体制表 平成22年11月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
消化器科		●	●	●	●	●
内科	血液内科	●	●	●	●	●
	循環器科	●		●	●	
	化学療法科	●		●		
呼吸器科		●	●	●	●	●
外科	乳腺科	●	●	●	●	
	外科	●	●	●		●
整形外科			●		●	●
脳神経外科		●		●		●
頭頸科(耳鼻いんこう科)		●	●		●	
形成外科			●			●
婦人科		●	●		●	
泌尿器科		●		●	●	
放射線科		●	●		●	●
緩和医療科				●		●

診療受付時間：午前8時30分～11時00分までをお願いします。

TEL (022)384-3151(代) FAX (022)381-1169

がんセンター 特別講演会のご案内



講師
高柳和江先生

来年の2月19日(土)、がんセンター大会議室で開催されます。

がん医療に関してご高名のお二人を呼んで、がんセンターセミナーを行います。詳しい時間については、当センター地域連携室に、ご確認ください。

特別講演

【演者1】
高柳和江 東京医療保健大学教授・笑医塾塾長
仮題 「がん患者さんを癒す笑い」
時間 午後1時から2時まで(予定)

【演者2】
久道 茂 日本医学会副会長 国立がん研究センター監事
宮城県対がん協会会長
現在のがん医療やがん検診などについて、ご講演いただく予定です。



交通案内

J 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
R 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用
仙 南交通
南 交通
自 家用車

東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用
名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用
仙台南インターからは、国道286号バイパス経由
県道仙台・岩沼線を利用(所要時間約15分)

地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

○受付 午前8時30分～午後5時15分
○TEL (022) 384-3151(代) 内線115
○FAX (022) 381-1169

宮城県立がんセンター

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
電話(代表) (022)384-3151 FAX(総務班) (022)381-1168

ロゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。

地域医療連携室だより

Vol.12

平成22年11月発行 地域医療連携室

宮城県立がんセンター



独法化に向けて

院長 西條 茂

酷暑の長い夏もやっと終わり秋もつかの間、初冬の気配も感じられるようになりました。

日頃ご支援いただいております先生方にはますますご健勝のことと存じます。

さて、がんセンターも含めた県立3病院の独立行政法人化(独法化)まで残すところ半年となりました。すでに評価委員会も立ち上がり独法化してからの4年間の中期目標を策定中で、その後中期計画策定に移ります。県の病院局、保健福祉部も関与し急ピッチで今後の3病院のあり方、方向性、整備計画などが話し合われております。いろいろな面で先行きの不透明な部分が多いのですが、人事などの面で自由度が今より少しは増すことを期待しております。しかし反面、自立も要求されます。これからはがんセンターが、地域の先生方に患者の皆様を紹介先として選ばれること、そして最良の医療を提供することが最優先となります。そのためには、先生方にも患者の皆様にもがんセンターに対して満足いただけるような様々な面で工夫し努力しなくてはならないと考えており、独法化がよい機会と捉えております。

一方、がん診療連携協議会では五大がんについての地域連携パスを作成中です。当院ではさしあたり胃がん、大腸がんから少しずつ開始し、他のがんも含め近日中にはがん診療連携協議会で協議の上、先生方に説明し来年4月頃をめどに本格的に開始したいと考えております。なるべく簡略化し先生方に負担にならぬよう努力いたします。

さて病院の明るい話題としては、6年間呼吸器外科に勤務されていましたが、佐藤雅美先生が鹿児島大学の教授に選考され9月に赴任いたしました。初代教授とのことで大変なことと思いますがご活躍を期待しております。

最近では各科それぞれに良い臨床、良い研究を行う環境ができてきており、学会発表や論文掲載が増えております。当センターは研究所を併設したがんセンターですので、「がん」への標準的治療はもとより、臨床研究によってエビデンスに基づき、よい「がん」医療を提供することが使命と考えております。

皆様のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて今回は当センターの研究所を特集してお届けいたします。お読みいただきご理解いただければ幸いです。



研究活動

ヒトがん幹細胞 プロジェクト 開始

研究面では、がん研究の最前線で活躍する研究所スタッフによって、数々の優れた研究成果を挙げています。現在、最も力を入れている研究テーマは「ヒトがん幹細胞研究プロジェクト」であり、がんを克服するために、悪性化の根源となるがん幹細胞を標的とした新たな取り組みが始まっています。また、新しい治療標的の探索と診断・治療法の開発、がんの疫学・予防に関する研究等を展開しています。

がん克服をめざして

研究所の使命

第一にがんの診断、治療、予防など、がん医療の進展に寄与する優れた研究成果を挙げる

第二に次代のがん研究・がん診療を担うがん研究者、がん臨床医、がん専門コメディカルの人材育成を行う

第三に良質かつ先進的医療が提供できるように診療科を支援し、県民に対し情報発信すること

テーラーメイド治療開始



研究所では、独自の遺伝子解析システムを用いて、テーラーメイド医療実用化のための支援を行なっています。河北新報(H20.5.5)で紹介。

高度先進医療施設の認定

設備面では最先端の研究設備や充実した動物実験施設を有しており、臨床検体を即座に解析診断することができます。がんゲノム解析が可能なTissue Bankを活用することにより臨床に直結する先端がん研究を行い、個々人のがん組織の特徴をいち早く捉え治療に結びつけるテーラーメイド医療（個別化医療）を支援する魅力的な研究環境が整っています。すでに当がんセンターは、脳腫瘍ゲノム解析を基にした高度先進医療施設の認定を受けています。

ティッシュバンク (2010.3)

呼吸器外科	214
消化器外科	275
乳腺外科	104
整形外科	38
脳外科	70
泌尿器科	65
婦人科	152
頭頸部外科	93
血液内科	63
合計	1074



超免疫不全NOGマウス

菅村和夫総長と実験動物中央研究所との共同開発によって生まれたNOGマウスを駆使した「がん幹細胞研究」を行ないます。

当研究所で学位の取得が可能に

東北大医学系研究科の連携講座設置

当研究所で研究を希望する医師や学生諸君のためには、東北大医学系研究科の連携講座である「がん医科学講座」が設置されています。がん研究を目指す修士・博士課程の大学院生を直接受け入れて研究指導を行っています。さらに、診療科に籍を置く臨床医に対しては、社会人大学院生として診療活動と研究活動を両立させながら学位取得が可能となっています。

当研究所は、次代の先端がん研究を担う若手研究者や研究マインドを持つ優れた臨床医・コメディカルスタッフの育成にも努めています。がん克服を目指して、当研究所でがん研究に従事したい学生諸君あるいは若手臨床医の参画を期待しています。

来年4月から、当センター研究所において、婦人科腫瘍学分野（山田秀和 教授）、泌尿器科腫瘍学分野（川村貞文 教授）、呼吸器科腫瘍学分野（前門戸 任 教授）が設置されます

平成23年度4月入学(博士・修士)大学院生募集

- 親身に直接指導：世界に通用するがん研究者を育成します
- 施設内に機器が完備：研究に専念できる実験環境を提供します
- 当センター病院との密接な連携により臨床応用研究ができます
- 当センター診療科に在籍し、社会人大学院生で学位取得ができます



入学願書受付期間

平成23年1月5日(水)～1月11日(火)

- 研究経験や出身学部は問いません。(コメディカルの方も在籍しています)
- 社会人の方も歓迎。医師は臨床従事も可能です。
- 見学は随時可能。(現在11名の大学院生が在籍中)

【連絡先】

田中 伸幸 tanaka@med.tohoku.ac.jp
島 礼 shima-hi632@pref.miyagi.jp
佐藤 賢一 ksatoh-gi@umin.ac.jp

研究所の組織

6研究部およびがん組織を一元的に管理するTissue Bankを運営する臨床研究室から構成されています。

《連携大学院分野名》

